

岡山朝日高校同窓会 朝日 会報

第19号 2012年10月10日発行



昭和29年11月に竣工した大講堂内部（ステージから撮影）。ほの暗さと冷やかな空気が他にはない凛とした雲田気を醸した。

大講堂使用中止に ～調査で耐震強度不足判明

できうれば存続願う

同窓会理事長 高祖日出夫



日頃から同窓会活動にご協力を賜り有難うございます。

朝日高校のシンボルといえる大講堂が近年の地震多発による耐震診断の結果により昨年9月の朝日祭以後使用は中止されています。

大講堂は創立80周年の記念事業として国費、県費並びに同窓会及びPTAの募金により、昭和29年（1954）に建築されました。その建築費の半分に相当する四百万円を同窓会から拠出しています。当時の国立大学の入学金は四百円、授業料が年額六千円という時代であったことから、当時としては大事業であることがしのべれます。

爾来入学式、卒業式、創立記念式、各種学校行事等の場として利用されており、皆様方には思い出深いと思います。私自身、大講堂との出会いは昭和58年3月第34回卒業式で同窓会関係者として出席し、以来毎年大講堂独特の厳肅な雰囲気を感じています。歴代の校長先生の式辞、卒業生の言葉など、体育館とは異なり、声の響きもよく今も強く心に刻まれております。

本年3月2日、卒業式はやむなく岡山市民会館で開催されました。

朝日高校の歴史と共に歩んできて多くの卒業生の心に残っている大講堂を出来ることならば維持・保存・使用出来るように切望しています。もしそれが不可能であるならば講堂機能の建物を新たに整備していただきたいと願っております。

大講堂特集……………P8～11